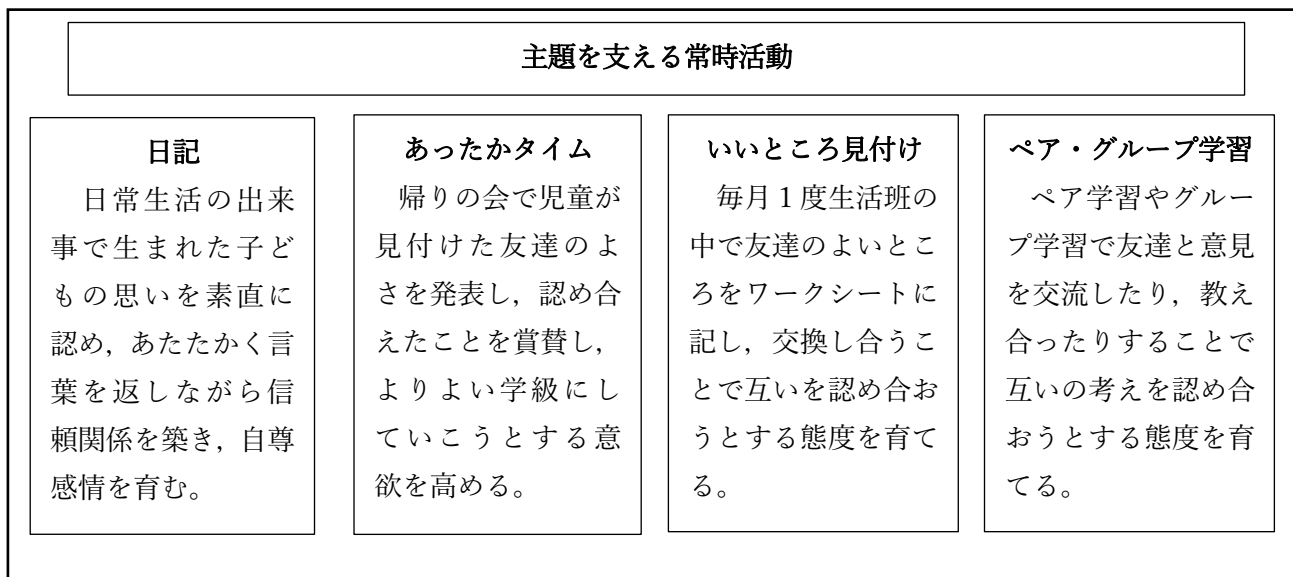
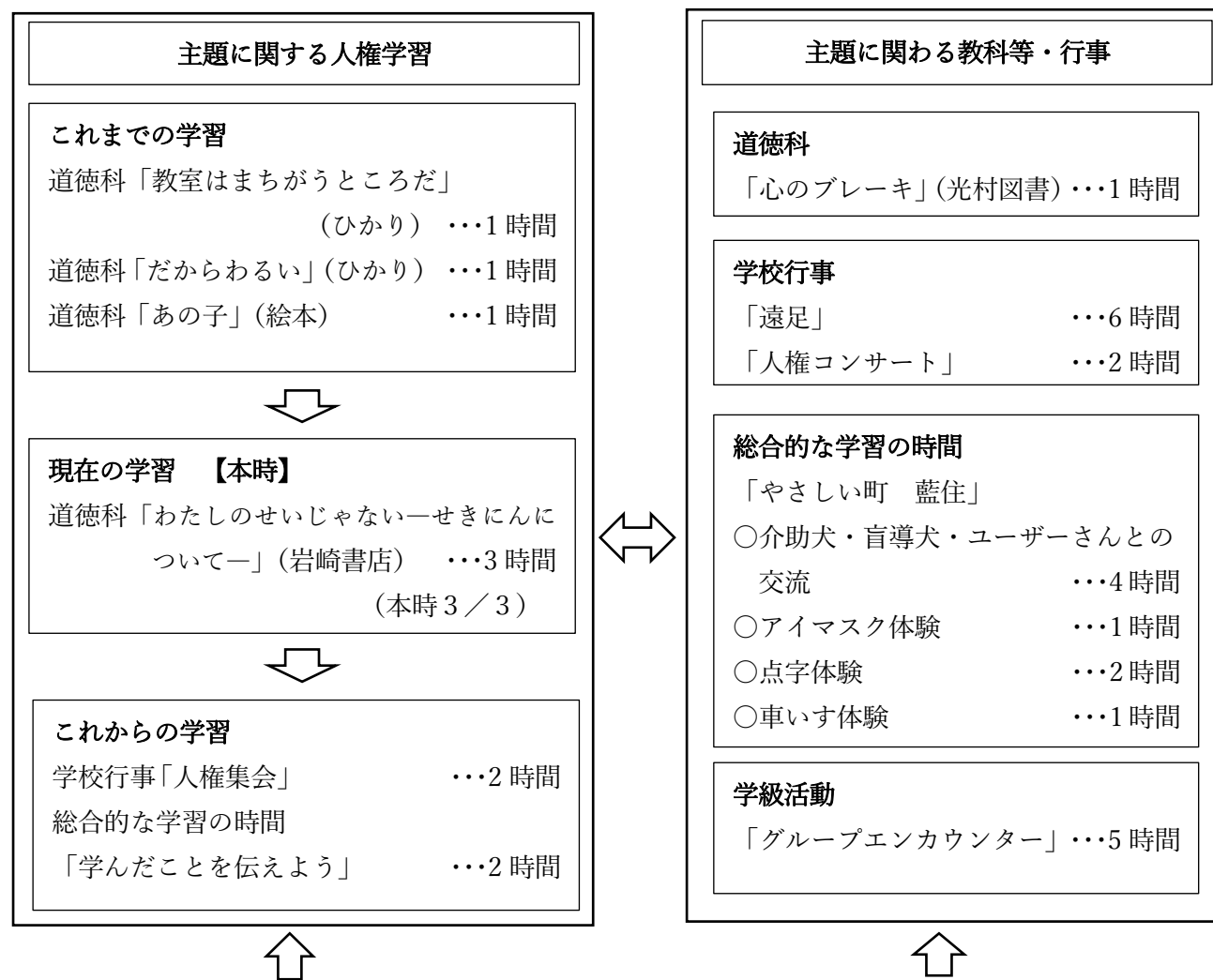


第4学年 道徳科（人権）学習指導案

- 1 主題名 ともに生きる
- 2 主題設定の理由（省略）
- 3 ねらい

学級集団の一人として、望ましい人間関係の在り方やともに生きるために自分ができることは何かを考え、行動しようとする態度を育てる。

4 指導計画



5 本時の学習

- (1) 目標 傍観者的な態度がいじめを助長することを理解し、いじめや差別をなくするために自分ができていることを考え、行動しようとする意欲を高める。

ねらいとする道徳的価値：C-15 よりよい学校生活，集団生活の充実

- (2) 普遍的な学習のテーマ 仲間づくり

- (3) 展開

学習活動	指導上の留意点
1 前時を振り返り，本時のめあてを確認する。	○前時までに話し合った内容を確認する。
<p>どうして男の子が泣いているのかを考え，学んだことを自分の生活につなげよう</p>	
2 どうして男の子が泣いているのかを話し合い，男の子の悲しみについて考える。	○周りにいる者の言動に着目し，泣いている原因は直接的加害者だけなのか考えさせる。 ○学級の傍観者的な態度がいじめを助長することを理解させる。 ①
3 自分たちの生活を振り返り，似たような立場になったことはないか，自分はどのように行動するかを考える。	○本時の学習を振り返り，これからの自分たちの生活で実践していくことをワークシートに記入させる。 ②
4 本時のまとめをする。	○説話を通して，いじめや差別をなくするために自分にできることを考え，行動しようとする意欲を高める。 ②

(4) 評価

- ・学級の傍観者的な態度がいじめを助長することが理解できたか。 【知識的側面】①
- ・いじめや差別をなくするために自分にできることを考え，行動しようとする意欲を高めることができたか。 【価値的・態度的側面】②